

磐梯山の火山活動解説資料（平成 26 年 8 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山性地震が一時的に増加しましたが、その他の火山活動に変化はなく、噴火の兆候は認められません。

平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、図 2-①）

剣ヶ峯（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、山体北側火口壁の噴気の高さは 70m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 2-②～⑥）

24 日に火山性地震が一時的に増加し、16～17 時の 32 回をピークに、日回数は 39 回となりました。地震の振幅は小さく、磐梯山ではこれまでも同様の活動が時々みられています。それ以外の期間、地震は概ね少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 3、図 5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況（8 月 30 日）

- ・ 剣ヶ峯（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラの映像です。
- ・ 実線赤丸で囲んだ部分が、山体北側火口壁からの白色噴気で高さは 70m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 9 月分）は平成 26 年 10 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

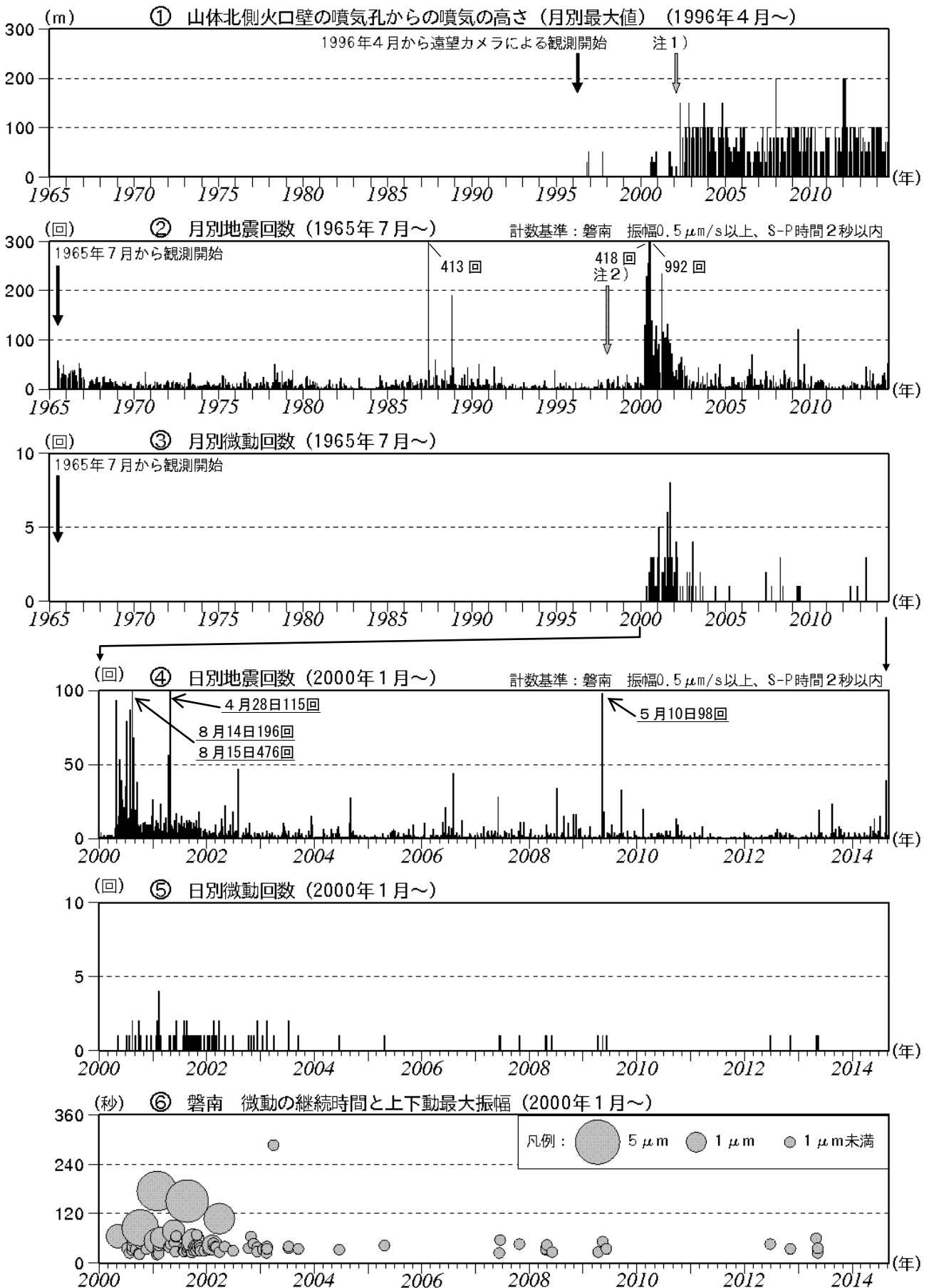


図2 磐梯山 火山活動経過図（1965年7月～2014年8月）

- ①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年3月以後は24時間観測による高さです。
- ②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。

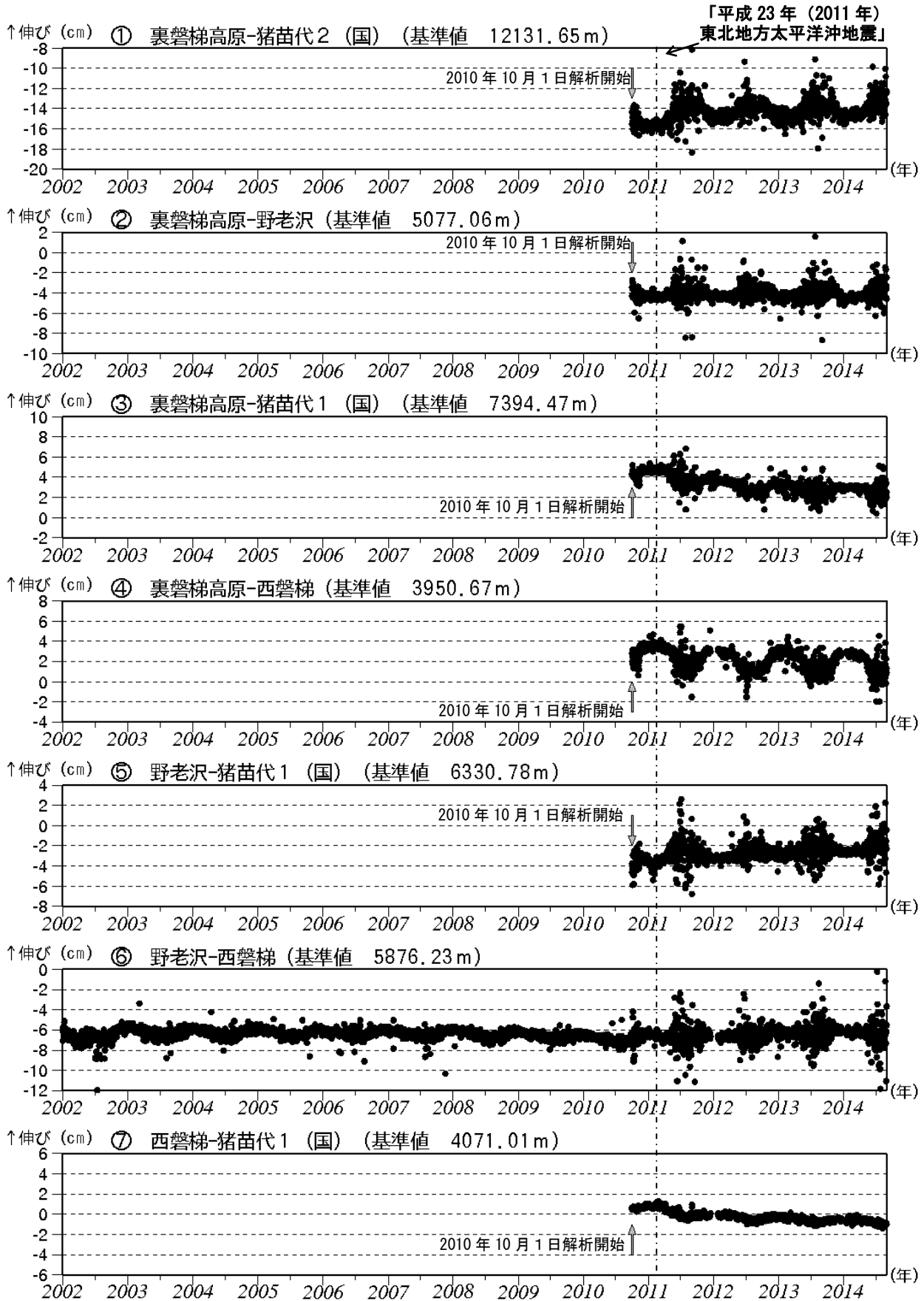


図 3 磐梯山 GNSS¹⁾ 基線長変化図 (2002 年 1 月～2014 年 8 月)

- 1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
 - ・ 2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
 - ・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・ ①～⑦は図 5 の GNSS 基線①～⑦に対応しています。
 - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- (国) : 国土地理院

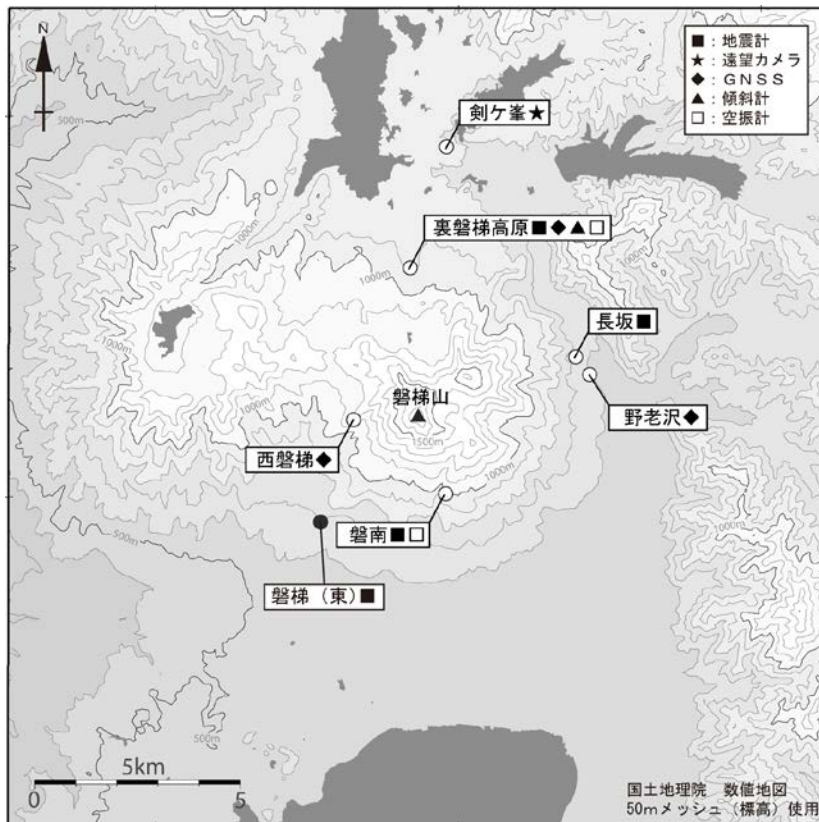


図4 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(東) : 東北大学

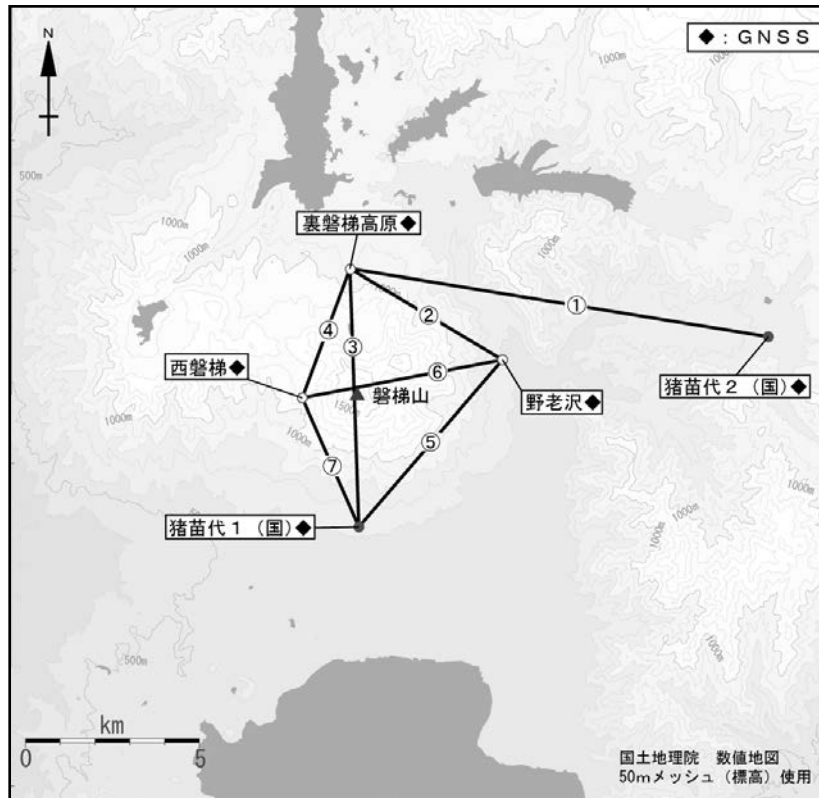


図5 磐梯山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国) : 国土地理院